

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スタートトゥデイ
 コード番号 3092 URL <http://www.starttoday.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 前澤友作
 (氏名) 柳澤孝旨

TEL 043-213-5171

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,659	37.1	1,210	23.1	1,219	22.8	698	24.0
21年3月期第2四半期	4,857	—	983	—	993	—	563	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	1,918.27	1,902.60
21年3月期第2四半期	4,717.14	4,603.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	9,303	5,735	61.6	15,728.23
21年3月期	8,119	5,342	65.7	14,663.65

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 5,731百万円 21年3月期 5,338百万円

(注)前連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、平成21年3月期第2四半期の対前年同期増減率については記載していません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	850.00	850.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	1,200.00	1,200.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	52.4	3,120	41.7	3,130	40.9	1,750	37.7	4,806.75

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 364,413株 21年3月期 364,071株
- ② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 一株 21年3月期 一株
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 364,184株 21年3月期第2四半期 119,402株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお控えください。
2. 平成21年3月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、徐々には海外経済の回復基調に伴う持ち直しの兆しが見られたものの、円高による業績圧迫懸念の高まり等依然として厳しい状況が継続し、現状では景気の二番底懸念も生じてきております。また、失業率が過去最高の水準となるなど、雇用情勢は一段と厳しい状況となっており、個人消費動向についても引き続き先行き不透明感が拭えない状況となっております。当社グループが軸足を置く衣料品小売業界におきましても、消費者による選択的支出の抑制がより鮮明となるなど、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、当連結会計年度を挑戦の一年と位置づけ、主力のEC事業により一層注力してまいりました。当第2四半期連結累計期間におきましては、「A BATHING APE®」によるモールパーク「BAPE®LAND」をはじめ、「MARGARET HOWELL」、「TOMMY/tommy girl」、「ZOZOGOLF」、「ZOZOBAG&SHOES」など新規29ショップの出店、平成21年4月1日より実施している1年間を通じた全商品送料無料キャンペーンなど、お客様へ提供するサービスの更なる強化を図ってまいりました。これら施策が奏功し、会員数を順調に増加させることができました。平成21年9月末時点の会員数は1,519千人（前連結会計年度末比254千人増）、同様にアクティブ会員数（注1）は545千人（同108千人増）となっております。

また、前連結会計年度より開始したメーカー自社EC支援事業（注2）におきましては、ZOZOTOWNでも人気の3ブランド「And A」、「HYSTERIC GLAMOUR」、「UNITED ARROWS」及び百貨店業界のアパレル部門トップである株式会社伊勢丹の自社ECサイト支援業務を新規に獲得することができました。なお、当社が百貨店の運営するEC業務を受託するのは初めてとなります。

以上の結果、売上高は6,659百万円と前年同期比1,801百万円（前年同期比37.1%増）の増収、営業利益は1,210百万円と前年同期比226百万円（前年同期比23.1%増）の増益、経常利益は1,219百万円と前年同期比226百万円（前年同期比22.8%増）の増益、四半期純利益は698百万円と前年同期比135百万円（前年同期比24.0%増）の増益となりました。

（注1）アクティブ会員：過去1年以内に1回以上購入した会員

（注2）メーカー自社EC支援事業：当社ECサイト「ZOZOTOWN」運営のために構築している自社システム、物流インフラを活用し、アパレルメーカーが独自に運営するECサイトのシステム開発、デザイン制作、物流請負、マーケティング支援など、必要に応じて各種フルフィルメント関連業務を支援するものであります。当該受託事業は、当社グループの将来戦略の一つである収益モデルの多角化の一環として行うものであり、ファッション関連マーケットにおけるBtoB領域への事業展開の端緒となるものであります。

なお、事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(1) EC事業

a. ストア企画開発事業

平成21年9月末現在、ストア企画開発事業では39ショップを運営しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,196百万円と前年同期比972百万円（前年同期比30.2%増）の増収、売上高全体に占める割合は63.0%（前年同期66.4%）となりました。

また、同期間における商品取扱高（販売価格ベース）は、商品売上高と同額となりますが、商品取扱高全体に占める割合は30.1%（前年同期33.0%）となりました。

b. ストア運営管理事業

平成21年9月末現在、ストア運営管理事業では89ショップを運営しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,334百万円と前年同期比786百万円（前年同期比50.8%増）の増収、売上高全体に占める割合は35.1%（前年同期31.8%）となりました。

また、同期間における商品取扱高（販売価格ベース）は9,743百万円と前年同期比3,205百万円（前年同期比49.0%増）の増収、商品取扱高全体に占める割合は69.9%（前年同期67.0%）となりました。

メーカー自社EC支援事業につきましては、平成21年9月末現在、5件の受託業務を行っておりますが、金額（売上高及び商品取扱高）が僅少なため、上記ストア運営管理事業の数値に含めております。

(2) その他

その他の売上として、メディア事業、カード事業及び初期出店料等がありますが、当第2四半期におけるその他の売上高は128百万円と前年同期比42百万円（前年同期比48.6%増）の増収、売上高全体に占める割合は1.9%（前年同期1.8%）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15.7%増加し、8,420百万円となりました。これは、売掛金が430百万円、有価証券が200百万円及び商品が463百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.2%増加し、883百万円となりました。これは、工具器具備品が29百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて14.6%増加し、9,303百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて28.4%増加し、3,332百万円となりました。これは、買掛金が291百万円及び受託販売預り金が454百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて30.5%増加し、236百万円となりました。これは、退職給付引当金が43百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて28.5%増加し、3,568百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて7.3%増加し、5,735百万円となりました。これは、当四半期純利益の増加698百万円及び配当の支払309百万円に伴う利益剰余金の増加389百万円などによるものであります。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、5,310百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は597百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,219百万円の計上による増加要因及び法人税等の支払額640百万円による減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は91百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出87百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は308百万円となりました。これは主に、配当金の支払額309百万円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、4月から始めた全商品送料無料をはじめとした販売促進キャンペーンや取扱いブランドの拡充等による商品供給の強化等の各種施策、また積極的な広告宣伝による新規会員及びアクティブ会員の獲得により、売上高が当初発表した業績予想を若干上回りました。一方、売上原価等の経費につきましては、売上高増加に伴い売上原価をはじめとした変動費の増加があったものの、効率的な新規会員獲得による広告宣伝費の一部未執行があったこと等により、ほぼ当初見込んでいた金額の範囲内で推移しました。その結果、営業利益については当初予算比30%超の増加、当期純利益では同40%超の増加とすることができました。

また、当第3四半期連結会計期間以降につきましては、引き続き積極的な取扱いブランドの拡充を行っていくことをはじめとし、本格化する秋冬物シーズンにおいて必要商材の確保を行うことで、当社顧客の旺盛な購買意欲に応じていく所存であります。

なお、通期業績予想につきましては、上述のとおり当社顧客の消費動向は直接的には景気の波に影響を受けない傾向があるものと考えておりますが、依然として個人消費の先行き不透明感が拭えない現状を鑑みつつ、引き続き新規会員獲得を行うためのより積極的な広告宣伝の実施、事業拡大に伴う更なる人員増強のための人件費の増加等追加経費の発生を見込んでいることから、平成21年7月30日に公表した平成22年3月期通期の連結業績予想数値を据え置くことといたします。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,810,716	4,813,086
売掛金	1,793,470	1,363,434
有価証券	500,000	300,000
商品	1,012,475	549,473
その他	304,237	254,792
流動資産合計	8,420,899	7,280,787
固定資産		
有形固定資産	426,653	395,204
無形固定資産	58,098	66,278
投資その他の資産	398,271	377,589
固定資産合計	883,023	839,072
資産合計	9,303,923	8,119,859
負債の部		
流動負債		
買掛金	704,041	412,383
受託販売預り金	1,433,635	979,493
未払法人税等	579,681	652,134
賞与引当金	86,539	70,984
ポイント引当金	182,843	146,298
その他	345,492	334,598
流動負債合計	3,332,235	2,595,892
固定負債		
退職給付引当金	133,805	90,784
役員退職慰労引当金	102,306	90,206
固定負債合計	236,111	180,990
負債合計	3,568,347	2,776,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,356,124	1,355,447
資本剰余金	1,324,322	1,323,646
利益剰余金	3,050,659	2,661,516
株主資本合計	5,731,105	5,340,611
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	466	△2,003
評価・換算差額等合計	466	△2,003
新株予約権	4,004	4,368
純資産合計	5,735,576	5,342,976
負債純資産合計	9,303,923	8,119,859

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,857,659	6,659,289
売上原価	1,933,014	2,699,194
売上総利益	2,924,644	3,960,094
販売費及び一般管理費	1,940,848	2,749,341
営業利益	983,795	1,210,752
営業外収益		
受取利息	8,832	6,901
受取配当金	—	820
その他	1,258	1,336
営業外収益合計	10,090	9,057
営業外費用		
株式交付費	180	19
創立費	563	—
営業外費用合計	743	19
経常利益	993,142	1,219,791
税金等調整前四半期純利益	993,142	1,219,791
法人税、住民税及び事業税	444,291	568,732
法人税等調整額	△14,383	△47,543
法人税等合計	429,908	521,188
四半期純利益	563,233	698,602

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	993,142	1,219,791
減価償却費	47,657	58,735
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,559	15,555
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	7,358	36,544
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18,737	43,021
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,416	12,100
受取利息及び受取配当金	△8,832	△7,721
売上債権の増減額 (△は増加)	△240,871	△430,035
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△155,168	△463,057
仕入債務の増減額 (△は減少)	84,687	291,658
受託販売預り金の増減額 (△は減少)	97,033	454,142
未払金の増減額 (△は減少)	△19,648	45,791
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△50,635	△31,837
その他	19,248	△14,241
小計	813,684	1,230,446
利息及び配当金の受取額	8,075	7,634
法人税等の支払額	△509,587	△640,794
営業活動によるキャッシュ・フロー	312,172	597,286
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△145,232	△87,742
無形固定資産の取得による支出	△21,872	△1,848
敷金の差入による支出	△1,200	△493
その他	△698	△1,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	△169,004	△91,164
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	420	968
配当金の支払額	△240,784	△309,460
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240,364	△308,491
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△97,195	197,629
現金及び現金同等物の期首残高	4,392,477	5,113,086
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,295,281	5,310,716

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるEC事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるEC事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。